第１章　大津市農業振興ビジョンとは

1　ビジョン策定の経緯

農業はお米や野菜・果物などを市民のみなさんにお届けする重要な存在です。市内の農産物直売所や量販店には、大津市産の農産物もたくさんあります。私たちはそれらを買いもとめて、健康で豊かな食生活を送ることができています。

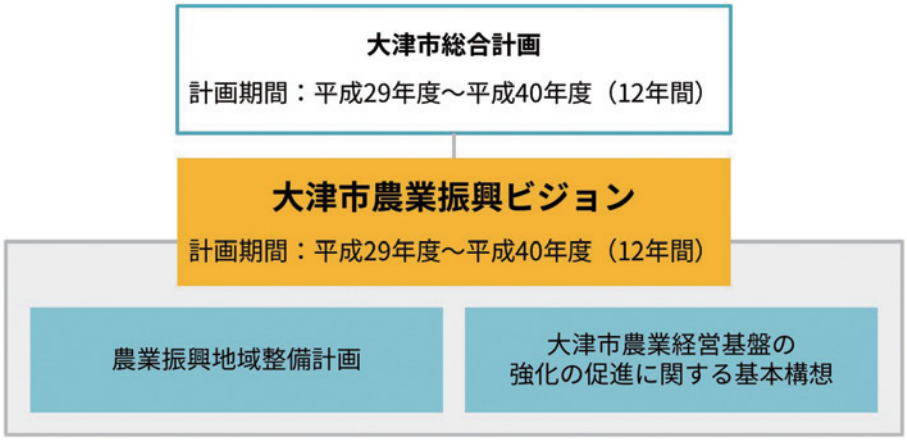
さらに、自然で営まれる農業は、同時に琵琶湖や比叡山・比良山系のほかにも、住宅街のまわりに広がる里山を美しくする上で、一役かっています。例えば、毎年春には田んぼにカエルや魚などのさまざまな生きものが集まります。各集落のお祭りや寺院の精進料理といった伝統文化も、農業と密接につながっています。

みなさんもご存じの通り、私たちの住む大津市にもたくさんの農家のみなさんが農業を営んでいます。しかし、農業を取り巻く環境は厳しく、地球温暖化といった自然環境の変化、農家のみなさんの高齢化や引退、それにともなう耕作放棄地の拡大など枚挙にいとまがありません。

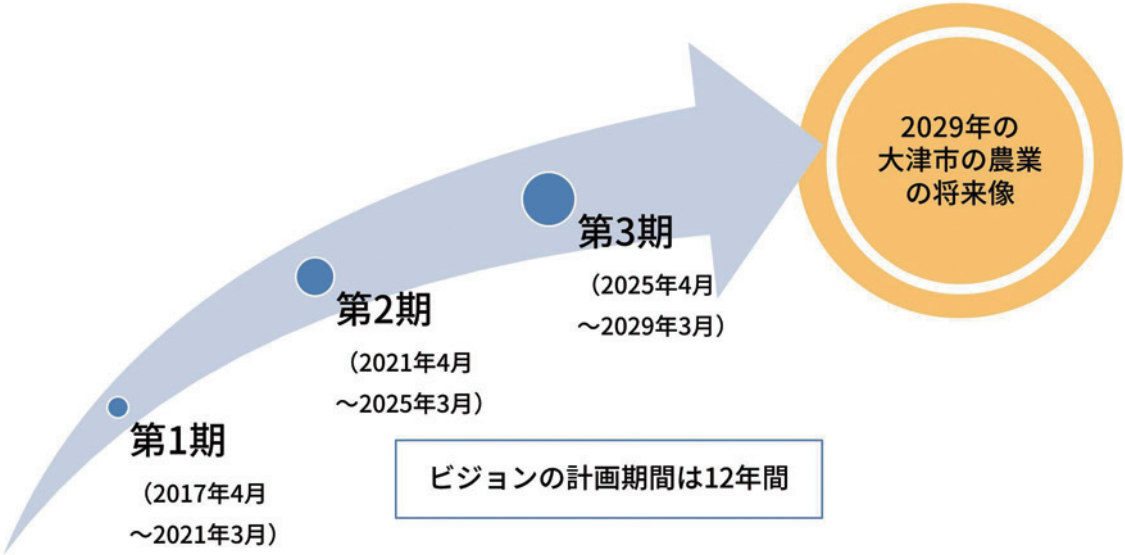
私たち大津のまちに元気な農業がこれからも営まれるためには、生産者はもちろんのこと、消費者である市民もいっしょに、この大津市の農業の将来図を共有することが必要です。この将来図である「大津市農業振興ビジョン」のもと、私たちは、大津市の農業のあり方や方向性を、農業に携わる方々だけでなく市民のみなさんと共有し、「地域みんなで支える農業」を実現することを目指しています。

2 ビジョンの位置づけ

「大津市農業振興ビジョン」は、大津市のまちづくりの全体計画である「大津市総合計画」に沿って定められる、今後の大津市の農業振興をまとめたものです。さらに、このビジョンは、過去これまでに大津市でまとめられた農業に関わる2つの計画の内容を踏まえたものとなっています。



3 ビジョンの計画期間

「大津市農業振興ビジョン」の計画期間は、平成29年度（2017年度）から平成40年度（2028年度）までの12年間です。

2029年の大津市の農業の将来像がこのビジョンにまとめられています。